

※本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025年1月23日

2024年度「国際会議誘致・開催貢献賞」の受賞会議が決定！

- 日本政府観光局（JNTO）では、毎年、誘致活動時や開催時において優れた取組を行った国際会議に対して「国際会議誘致・開催貢献賞」を選定・表彰しています。
- 2024年度は、「国際会議誘致の部」で4件、「国際会議開催の部」で5件、合計9件の国際会議を選出しました。今回受賞した会議では、ITの活用、次世代につながるレガシー効果やSDGsの取組に加え、地元企業や商店街との連携、地域特有のコンテンツを活かしたエクスクーショントツアーの実施など、開催都市の強みを生かしたユニークな取組が光っていました。
- JNTOでは、こうした関係者の努力や功績を称えるとともに、ベストプラクティスとなる事例を広く共有し、地域が取り組む国際会議の誘致・開催を促進してまいります。

2024年度受賞会議（詳細は別紙参照）

【国際会議誘致の部】

- ・ 第15回アジア化学センサ国際会議（開催年：2024年、開催都市：福岡県北九州市）
- ・ 第21回世界観光ガイド連盟(WFTGA)総会（開催年：2026年、開催都市：福岡県福岡市）
- ・ 2026年電磁界理論の先進的応用に関する国際会議及びIEEE-APS無線通信におけるアンテナ・伝搬に関する会議（開催年：2026年、開催都市：富山県富山市）
- ・ 国際神経化学会—アジア太平洋神経化学会合同大会2027（開催年：2027年、開催都市：京都府京都市）

【国際会議開催の部】

- ・ 第22回国際自動制御連盟世界大会（開催年：2023年、開催都市：神奈川県横浜市）
- ・ 国際天文学連合アジア太平洋地域の天文学に関する国際会議（開催年：2023年、開催都市：福島県郡山市）
- ・ 第17回岩石-水相互作用国際会議（開催年：2023年、開催都市：宮城県仙台市）
- ・ 第10回応用数理国際会議（ICIAM 2023）（開催年：2023年、開催都市：東京都）
- ・ 焼結国際会議 2023（開催年：2023年、開催都市：岐阜県岐阜市）

※掲載は開催年月日順

2024年度「国際会議誘致・開催貢献賞」表彰式 取材のご案内

- 日時：2025年2月13日（木）14：00～15：15（メディア受付は13：30～）
- 会場：東京国際フォーラム Bブロック/5階 ホールB5
- 取材申込締切日：2025年2月12日（水）17：00まで

※本表彰式の取材をご希望の場合は、別紙に記載のフォームまたはFAX返信表にてお申し込みください。

【お問い合わせ先】

MICE プロモーション部 誘致推進グループ
佐藤・直井・菊池

TEL：03-5369-6015 E-MAIL：yuchi@jnto.go.jp



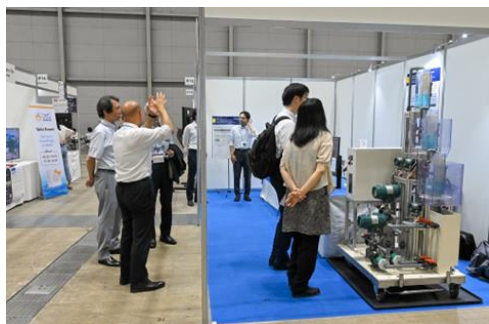
○国際会議誘致・開催貢献賞の概要

国際会議の開催は、開催地への外国人参加者の来訪に加え、地元産業と学会を連携させることによる地域の活性化や経済発展に繋がります。本賞は、先進性、独創性を含んだ企画力や地域貢献等を含む優れたレガシー効果を生み出す会議など、今後のベストプラクティスとなる国際会議の事例を表彰し、会議主催者や一般の方に国際会議誘致・開催の重要性の理解の促進を図ることを目的としており、誘致・開催の2部門で、有識者による審査を経て表彰します。当事業は2008年度より実施しており、本年度で17年目を迎えます。

【対象となる国際会議】

- ・参加者総数50名以上、かつ参加者の国籍が日本を含む3カ国以上で開催期間が1日以上
- ・2023年4月1日～2024年3月31日に誘致決定または日本で開催された国際会議

○国際会議誘致・開催貢献賞「国際会議開催の部」受賞会議開催の様子



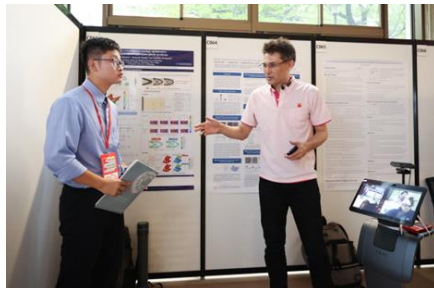
第22回国際自動制御連盟世界大会
企業展示の様子



国際天文学連合アジア太平洋地域の天文学
に関する国際会議 セッションの様子



第17回岩石-水相互作用国際会議
蔵王山地質巡検の様子
(©WRI-17)



第10回応用数理国際会議 (ICIAM 2023)
自立走行型アバターを使用した
ポスターセッションの様子
(©TCVB)



焼結国際会議 2023
バンケットの様子

2024 年度国際会議誘致・開催貢献賞
「国際会議誘致の部」受賞会議

別紙

会議名	(和名) 第 15 回アジア化学センサ国際会議 (英文) The 15th Asian Conference on Chemical Sensors (ACCS2024)		
主催者	国立学校法人九州工業大学	開催都市	福岡県北九州市
開催期間	2024 年 11 月 17 日～11 月 20 日 (4 日間)	競合	北京 (中国)・ソウル (韓国)
参加予定人数 (外国人参加者数)	400 名 (200 名)	参加予定国・地域数	12 カ国・地域
受賞理由	水素船を利用したエクスカーションを提案する等、産業都市、環境モデル都市としての特性と国際会議のテーマ性を掛け合わせて誘致活動を実施した点が評価された。また精力的なネットワーク構築活動が功を奏し、最終的に、同様に誘致に立候補していた韓国からの協力を取り付けたことは、他には見られない取り組みとして評価された。		
会議名	(和名) 第 21 回世界観光ガイド連盟(WFTGA)総会 (英文) WFTGA 21st Tourist Guide Convention		
主催者	WFTGA2026 総会開催実行委員会	開催都市	福岡県福岡市
開催予定期間	2026 年 2 月 9 日～2 月 13 日 (5 日間)	競合	コーク (アイルランド) サバ (マレーシア) イスタンブール (トルコ)
参加予定人数 (外国人参加者数)	600 名 (400 名)	参加予定国・地域数	60 カ国・地域
受賞理由	前回の誘致失敗の要因である高コストを解決し、また 2024 年 1 月にイタリアで開催された第 20 回大会でプロモーションブースを出展する等、主催関係者が熱意を持って誘致に取り組んだ点が評価された。また観光庁や福岡市と連携し、オールジャパン体制で誘致に取り組んだ。開催都市のみならず、九州・西日本の広域を訪問するプレ・ポストツアーの企画も評価された。		
会議名	(和名) 2026 年電磁界理論の先進的応用に関する国際会議及び IEEE-APS 無線通信におけるアンテナ・伝搬に関する会議 (英文) 2026 International Conference on Electromagnetics in Advanced Applications and IEEE-APS Topical Conference on Antennas and Propagation in Wireless Communications (ICEAA-IEEE APWC 2026)		
主催者	一般社団法人電子情報通信学会 (予定)	開催都市	富山県富山市
開催予定期間	2026 年 9 月 14 日～9 月 18 日 (5 日間)	競合	パレルモ (イタリア)
参加予定人数 (外国人参加者数)	600 名 (400 名)	参加予定国・地域数	50 カ国・地域
受賞理由	富山県の魅力をアピールし、アジア初の誘致成功を地方都市で実現した点が評価された。またプログラムには、次世代育成や SDGs 等の観点から様々な工夫が見られる。加えて行政が積極的に誘致活動に参加し、コンベンションビューロー等と連携しながらオール富山として取り組んだ点も評価された。		

2024 年度国際会議誘致・開催貢献賞
「国際会議誘致の部」受賞会議

別紙

会議名	(和名) 国際神経化学会—アジア太平洋神経化学会合同大会 2027		
	(英文) ISN-APSN 2027 (ISN: International Society for Neurochemistry, APSN: Asian Pacific Society for Neurochemistry)		
主催者	国際神経化学会およびアジア太平洋神経化学会	開催都市	京都府京都市
開催期	2027 年 (開催日程未定)	競合	シンガポール
参加予定人数 (外国人参加者数)	500 名 (300 名)	参加予定国・地域数	未定
受賞理由	1 度決定した会議開催をコロナ禍で断念したこともあったが、日本人の国際本部役員就任により国際的な影響力を強化したことで誘致を実現した点が評価された。また、市場分析等、誘致活動の基礎となる部分を確実に実施している点や、本国際会議への参加費用の助成等、若い世代への配慮が見られる点も評価された。		



2024 年度国際会議誘致・開催貢献賞
「国際会議開催の部」受賞会議

別紙

会議名	(和名) 第 22 回国際自動制御連盟世界大会		
	(英文) The 22nd World Congress of the International Federation of Automatic Control (IFAC 2023)		
主催者	第 22 回国際自動制御連盟世界大会実行委員会	開催都市	神奈川県横浜市
開催期間	2023 年 7 月 8 日～7 月 14 日 (7 日間)		
参加人数 (外国人参加者数)	3,206 名 (2,358 名)	参加国・地域数	62 力国・地域
受賞理由	産学連携や国際的な共同研究への取り組み、横浜市と共催した次世代育成につながるワークショップの開催など会議開催におけるレガシー効果や SDGs に対する取り組みが高く評価された。各セッション内容も魅力的な内容となるようよく検討されている。準備期間中がコロナ禍となったが、これらの主催者の工夫によって現地参加をアピールし参加者の 95%が現地参加となり、参加者増にも大きく寄与した点も評価。		
会議名	(和名) 国際天文学連合アジア太平洋地域の天文学に関する国際会議		
	(英文) Asia-Pacific Regional IAU Meeting 2023 (APRIM2023)		
主催者	アジア太平洋地域の天文学に関する国際会議 (APRIM2023) 組織委員会	開催都市	福島県郡山市
開催期間	2023 年 8 月 7 日～8 月 12 日 (6 日間)		
参加人数 (外国人参加者数)	474 名 (270 名)	参加国・地域数	39 力国・地域
受賞理由	会議主催者、コンベンションビューロー、地元企業の連携を高く評価。会場設営・運営に地元企業を利用し、地域に国際会議開催のノウハウの知見が蓄積された。また途上国から参加する若手研究者の渡航費の一部の寄付を募る取り組みや、東日本大震災からの復興を参加者にアピールした点も評価された。		
会議名	(和名) 第 17 回岩石-水相互作用国際会議		
	(英文) The 17th International Symposium on Water-Rock Interaction (WRI-17)		
主催者	第 17 回岩石-水相互作用国際会議組織委員会	開催都市	宮城県仙台市
開催期間	2023 年 8 月 18 日～8 月 22 日 (5 日間)		
参加人数 (外国人参加者数)	411 名 (168 名)	参加国・地域数	24 力国・地域
受賞理由	過去に東日本大震災の影響から仙台で立候補するも落選してしまった経験乗り越え、39 年ぶりの日本開催を実現した。地球科学をベースとした本会議では地質巡察として、会期中に様々な地質的名跡を訪問する学術と地域のローカルコンテンツをつなぐユニークなツアーを実施、また途上国からの参加登録料に差をつけるなどして、参加増につながる工夫を行ったことが大きく評価された。		



2024 年度国際会議誘致・開催貢献賞
「国際会議開催の部」受賞会議

別紙

会議名	(和名) 第 10 回応用数理国際会議 (ICIAM 2023)		
	(英文) 10th International Congress on Industrial and Applied Mathematics (ICIAM 2023)		
主催者	ICIAM2023 実行委員会	開催都市	東京都
開催期間	2023 年 8 月 20 日～8 月 25 日 (6 日間)		
参加人数 (外国人参加者数)	5,314 名 (4,310 名)	参加国・地域数	87 力国・地域
受賞理由	国内の大学・研究機関に所属する研究者、学生が主体となって会議運営を行い、新しい論文投稿システムや自立走行型アバターを使ったポスターセッション、100 以上のパラレルセッションの完全ハイブリッド化、市民講座での自動翻訳システムの導入など、最先端技術を駆使して行われた会議運営が高く評価。また、幅広い年代層が参加可能な公開講座の実施や地元商店街との連携も評価された。		
会議名	(和名) 焼結国際会議 2023		
	(英文) The International Conference on Sintering 2023		
主催者	公益社団法人 日本セラミック協会 エンジニアリングセラミック部会	開催都市	岐阜県岐阜市
開催期間	2023 年 8 月 27 日～8 月 31 日 (5 日間)		
参加人数 (外国人参加者数)	238 名 (111 名)	参加国・地域数	18 力国・地域
受賞理由	日本開催が初めてであること、開催都市の特性と学術分野の親和性が高い点、伊吹山ドライブウェイや美濃酒造巡り等、参加者の 75%が参加した地元特有のコンテンツを活かした多様なエクスカージョンの実施や、地元飲食店街を巻き込んだ取り組みなどが国際会議開催のレガシー効果として高く評価。また、招待講演者を各大陸からバランスよく選出し、参加者増につなげた点やもともと 2021 年開催予定であったところ 2 年の延期を経て、辛抱強くホームページなどで準備状況を発信していた点も評価された。		



報道関係各位

別紙

2024年度「国際会議誘致・開催貢献賞」表彰式 取材のご案内

福岡県北九州市／福岡県福岡市／富山県富山市／京都府京都市／神奈川県横浜市
福島県郡山市／宮城県仙台市／東京都／岐阜県岐阜市の計9都市の会議が受賞

- ◆2024年度は誘致の部4件、開催の部5件を選出
- ◆2008年度より実施しており本年度で17年目
- ◆岐阜県岐阜市の国際会議が初受賞！

日時：2025年2月13日（木）14：00～15：15（メディア受付 13：30～）
会場：東京国際フォーラム Bブロック/5階 ホールB5（東京都千代田区丸の内3丁目5-1）
※第34回国際MICEエキスポ（IME2025）会場内で開催します。

当日スケジュール（予定）

14：00 開会 主催者挨拶 JNTO 理事長
ご来賓挨拶 観光庁

14：05 国際会議誘致の部紹介／表彰及び受賞者挨拶①～④

- 表彰①：第15回アジア化学センサ国際会議（福岡県北九州市）
表彰②：第21回世界観光ガイド連盟(WFTGA)総会（福岡県福岡市）
表彰③：2026年電磁界理論の先進的応用に関する国際会議及びIEEE-APS無線通信におけるアンテナ・伝搬に関する会議（富山県富山市）
表彰④：国際神経化学会—アジア太平洋神経化学会合同大会2027（京都府京都市）

14：20 国際会議開催の部紹介／表彰及び受賞者挨拶⑤～⑨

- 表彰⑤：第22回国際自動制御連盟世界大会（神奈川県横浜市、参加者数3,206人）
表彰⑥：国際天文学連合アジア太平洋地域の天文学に関する国際会議（福島県郡山市、参加者数474人）
表彰⑦：第17回岩石-水相互作用国際会議（宮城県仙台市、参加者数411人）
表彰⑧：第10回応用数理国際会議（ICIAM 2023）（東京都、参加者数5,314人）
表彰⑨：焼結国際会議2023（岐阜県岐阜市、参加者数238人）

14：45 閉会
14：45～写真撮影

※スケジュールは今後変更になる可能性がございます。時間に余裕をもってお越しくださいませ。
※事後に当日のオフィシャル素材を提供いたします。
※ご取材お申し込みの際は、最終頁のフォームまたはFAX返信表をお送りください。

【表彰式に関する報道関係者からのお問い合わせ先】
近畿日本ツーリスト 広報事務局（KMCgroup内）坂本、金崎
TEL：03-6261-7413 直通：070-1265-6852 FAX：03-6701-7543
E-MAIL: info@kmcpr.co.jp

「国際会議誘致・開催貢献賞」の運営サポートおよび表彰式実施の事務局は、近畿日本ツーリスト株式会社が受託しています。

別紙

誠に恐縮に存じますが、ご参加の有無につきましては、お申込みフォームまたは FAX にて、
【2025年2月12日(水)17:00】までにご返信いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お申込みフォーム

お申込みフォーム : <https://forms.gle/2bqxcUWzRxLwg3Zj7>

※右記の QR コードからもお申し込み可能です。



FAX 返信表

FAX : 03-6701-7543

(近畿日本ツーリスト 広報事務局) 行

▶ 2024 年度「国際会議誘致・開催貢献賞」表彰式

日時 : 2025年2月13日(木) 14:00~15:15 (メディア受付 13:30~)

会場 : 東京国際フォーラム Bブロック/5階 ホールB5

ご出席 オフィシャル素材希望

(個別取材希望 :)

貴社名

貴媒体名/番組名

部署名

お名前

計 名様

ムービー :

台

スチール :

台

TEL :

FAX :

E-MAIL :

緊急連絡先 :

■留意事項

※以下記載の内容に関しましては法令上個人情報の取得にあたるため、何卒ご理解・ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

個人情報の取り扱いに関し、以下の内容につき、同意いたします。

・記入した個人情報は、本件の広報事務局である KMCgroup(株)が個人情報保護方針に基づき管理するとともに、法令およびその他の規範にしたがって、ニュースリリース等の発信、記者会見や見学会の案内など、広報およびコミュニケーション活動に必要な範囲で利用すること。

・グループ会社、提携先、業務委託先等上記個人情報を提供する場合があること。

※個人情報の取扱いに際してのお問い合わせは事務局までご連絡ください。

